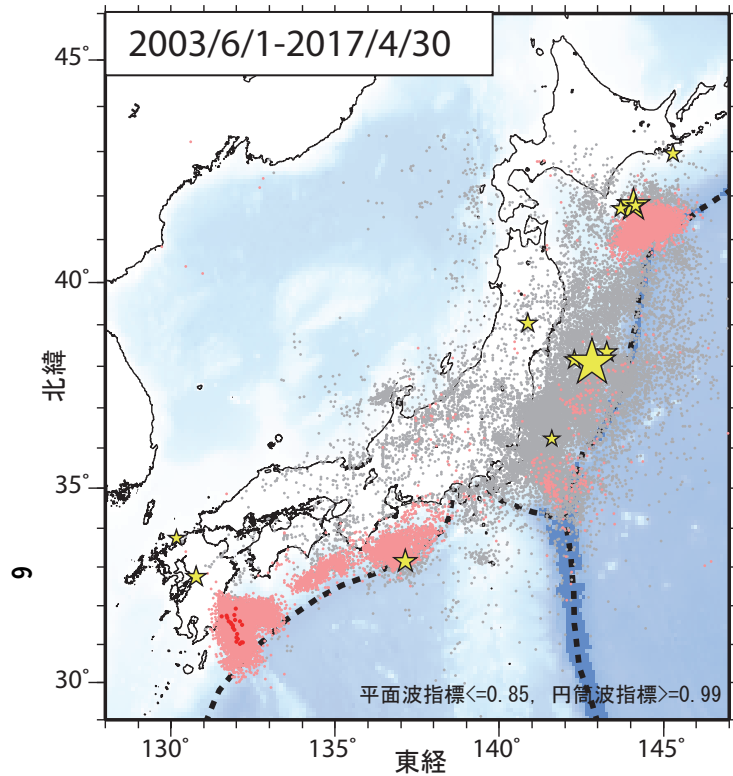
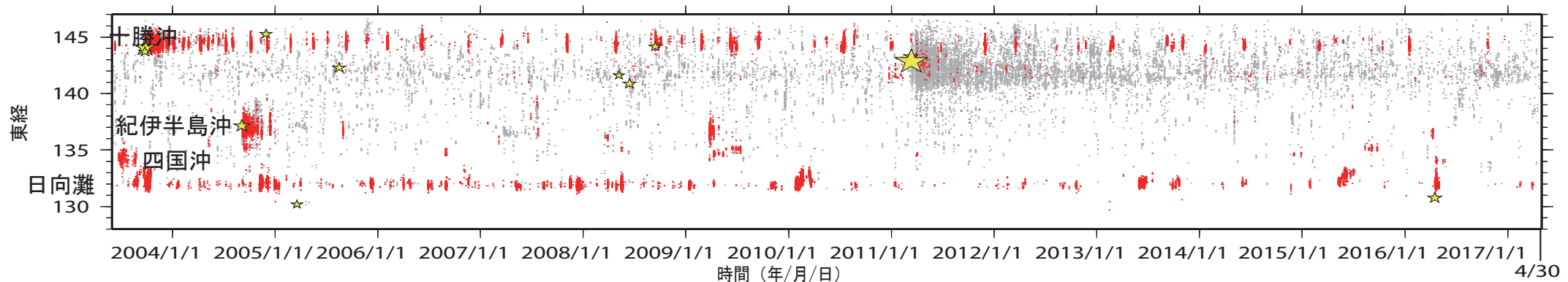


日本周辺における浅部超低周波地震活動（2017年2月～4月）



- 日向灘～種子島沖において、2月中旬および3月下旬に超低周波地震活動が検出された。
- 上記活動の一部は、南西諸島も含めたF-net観測点の記録によると、種子島沖～奄美大島沖で発生したものとみられる。

第1図. 2003年6月1日から2017年4月30日までの期間にアレイ解析によって検出されたイベントの震央分布. 検出イベントを防災科研 Hi-net の手動, または自動検測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を桃色 (2017年1月31日以前), および赤色 (2月1日以降) の点でそれぞれ示す. これらは主として周期 10 秒以上に卓越する超低周波地震を表すが, 東北地方太平洋沖地震の発生以降は, 除去しきれない通常の地震を多数含む. 期間内に発生した $M7$ 以上の地震の震央を黄色星印で併せて示す (ただし, 2011年3月11日～2015年は東北地方太平洋沖地震の本震のみ).



第2図. 2003年6月1日から2017年4月30日までの期間に検出されたイベントの時空間分布. 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動, または自動検測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外を赤色の点でそれぞれ示す. その他は第1図に同じ.